

都の風

MIYAKO NO KAZE



初冬
号

2013年 No.35

- 発行／都会メディカルケアシステム 渡辺 康介
- 編集／地域広報委員会 京都市北区大宮南田尻町59番地
- ホームページ／<http://www.miyakokai.or.jp/>
- お問い合わせ／info@miyakokai.or.jp

理念

- 患者様・ご利用者様の立場にたったキュア(医療)・ケア(介護)を提供いたします
- 医療・介護・福祉を通して地域、社会に貢献いたします
- 職員の質の向上をはかります



藤井サダ様
満99歳

北区在住 大正3年4月27日生まれ



グループホーム「一乗寺ほっこり庵」
管理者 濱口 史郎

開所6年目を迎えて

今年も秋が深まり、肌寒い季節になつてまいりました。一乗寺ほっこり庵のちょうど東に位置する白川通り沿いの街路樹の銀杏の葉も、黄色く色付き始めています。毎年秋になると、落ち葉を踏みしめながら、入居者様と近くのスーパーマーケットまで買い物に出掛け、帰り道にちょうど正面に位置する比叡山の、赤く紅葉した山肌を観て、「きれいやねえ」と顔を見合わせて笑った事を思い出されます。

まだまだ自然の多く残る、恵まれた環境と、温かな地域の方々に囲まれて、開所後6年目を迎えた今、一乗寺ほっこり庵の入居者様は、静かで落ち着いた日々を送られています。施設内の檜作りの床板は、寒い季節を乗り越えられるよう、今年も変わらず入居者様の足元を温めてくれています。

今後もずっと変わらず、些細な幸せを、大きな喜びに変えられるような、穏やかで、優しいケアを目指し、職員一同励んで行きたいと思います。

No.35

第19回全国の集い新潟2013に参加させていただきました。会場は朱鷺メッセ新潟「ひばりシヨンセンター」というところで、日の前には美しい日本海と信濃川があり、とてもすばらしいところでした。会場に入ると大勢のスタッフの方が出迎えてくださいました。そして、そろそろと集まつこられる参加者を見ていました。同じ志を持ち、少しでも多くの介護に関してのお話やいろいろな事例から真剣に学ぼうと集まつこられていました。思いのど思つと胸が熱くなりました。皆、仲間なんだと思いました。

会場には様々なテーマのシンポジウムがあり、私は

9月22日、23日に新潟で行われた「第19回全国の集いin新潟2013」に参加させて頂きました。NPO在宅ケアを支える診療所市民全国ネットワークの大会です。東京から上越新幹線で約2時間、新潟は私の想像以上に都会で、大会が行われた、朱鷺メッセは信濃川の河口に位置し会議施設、ホテルを兼ね備えた会場でした。展望室(地上31階)からは信濃川の向こうに佐渡島が見え新潟港も見渡せる夜景100選にも選ばれた絶景を見ることが出来ました。

今回、私は独居・在宅生活の継続の力「アーリーで独居生活をされているケースの発表をさせて頂きました。」この力

居宅介護支援事業所ひまわり 澤井 紀久代
テコリーだけでも14件の発表があり診療所、訪問看護、訪問介護、グループホーム、薬局など多職種に渡っています。それぞれが「どうしたらより良い生活を送れるのか、できることは何か」を考え日々利用者様に向き合つていることがわかりました。また、自分の立場(ケアマネージャ)と違う視点からみることも大事だと感じました。講演では、地域的な取り組みが盛んに行われていることや認知症の人のケアでの倫理的問題から考える課程などがあることを学びました。今後、少しでも良い援助ができるように役立てて行きたいと思います。



ホームヘルプステーションひまわり 木村 理恵

～エンド・オブ・ライフ・ケア～終末期を生きるために～とい

うフリーアナウンサーの小野沢裕子さんのセミナーに参加

させていただきました。誰もが迎える終末期をどのように

ケアするのか、されるのか、またどのようにすれば生き生きと過ごせるのか。住み慣れた居心地の良い場所でいつまでも過ごすことが出来ること。それが今、生活支援のネットワークによって実現されようとしているのです。

今回、いろいろなシンポジウムに参加させていただきました。これから業務に生かせるよう日々務めていきたいと思います。

「第19回全国の集いin新潟2013」～雪割草～みんなのケアで咲かせよう～

研

修

報

告

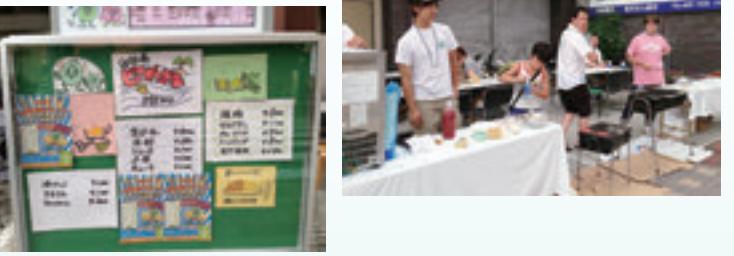
地域の行事に参加して



ビア
ガーデン



葵まつり



流し
そうめん



御園橋
まつり

作品展

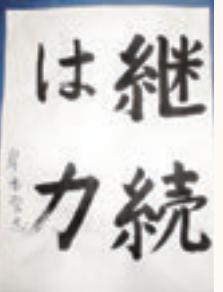
ぬり絵



貼り絵



お習字



カレンダー



お守り袋



大文字送り火の
炭を入れたお守り



風景画



へちま
たわし

増えています!高齢者の結核

感染予防委員長 小林 美紀

非受診しましょう。特に65歳以上の方は毎年結核の健康診断をかかりつけ医で受けて下さい。

京都市北保健センターでも結核相談を実施しています。

かつて国民病と呼ばれていた結核ですが、今なお年間20万2千人の患者が発生しており、特に高齢者の割合が多いのが特徴です。既感染率は70歳が50%といわれています。昔の結核流行時に感染し眠っていた菌が、老化と共に体力が低下し再び目を覚まし発病に至るのです。高齢者に多いのはその為です。

結核ではないかと疑う症状は、
※2週間以上続くせき、たん。
※寝汗、微熱、体のだるさ、体重減少。
※血痰、胸痛など。
風邪かもしれないと思っていても長引く場合は是

日 時： 第2・4 月曜日 9:00 ~ 10:30
費 用： 無 料
電 話： 075-432-1438

結核は早期発見が大切です。結核の発病を防ぐには免疫力の低下につながる不規則な生活を避け、健康管理を心掛けるようにしましょう。



デイサービスセンターつるさんかめさん



楽しいおやつ作り



ゼリー



みたらし
だんご



たこ焼き



お焼き



しそ
ジュース